

平成30年度シート

分担金・ 拠出金名	中東淡水化研究センター（MEDRC）拠出金	種別	任意拠出金	30年度 予算額	3,310千円	総合評価	C
拠出先 国際機関名	中東淡水化研究センター（MEDRC）						
国際機関等 の概要及び 成果目標	<p>（1）設立経緯等・目的：中東淡水化研究センター（MEDRC）は、1996年に発足。所在地はオマーン。機関の目的は、「淡水化に関連する基礎研究及び応用研究の進行、実施、調整などを行うこと。また、淡水化の技術的な工程を改善することにより、中東和平プロセス並びにその他地域の人々の生活水準の向上に貢献すること」（設立協定）とされている。2018年5月現在、加盟国は10か国。</p> <p>（2）拠出の概要及び成果目標：日本からの拠出は、事務局運営費、プロジェクト実施等のために使用される。本件拠出を通じ、淡水化が死活問題であるパレスチナを支援するとともに、淡水化技術者の育成を通じた中東和平当事者の生活水準の向上に貢献することを目標とする。</p>						
1 専門分野 における活 動の成果・影 響力	<ul style="list-style-type: none"> ・中東和平関連の多国間協議の枠組みで設立された機関のうち、現在も実質的な活動を続けている機関として国際社会から高い評価を得ている。5か年戦略計画（2017年～2021年）は、淡水化に関連する基礎研究及び応用研究の振興、実施、調整を行い、また、淡水化の技術的な工程を改善することにより、中東和平プロセス、及び中東地域の人々の生活水準向上に貢献することを目標としており、現在これに基づき活動している。 ・上記目標に沿って、研究部門（水分野の研究推進）、研修部門（企業等の研修の実施（三者事業を除く））、開発協力部門（三者事業、パレスチナ及びヨルダンへの奨学金供与等）の三つの部門でそれぞれの取組を行っている。 ・中東和平の当事者であるイスラエル、ヨルダン、パレスチナの三者間で行う協議や研修は、当事者間の信頼醸成に大きく貢献するもの（2017年は、4月（於：オマーン）、5月（於：スイス）、8月（於：スペイン）において、2018年に入ってから、2月（於：アイルランド）、3月（於：オランダ）において、淡水化コスト、気候変動、廃水処理等に関し、三者協議を実施）。 ・また、MEDRCは、パレスチナ（ヨルダン川西岸及びガザ）及びヨルダンの学生に対し、淡水化分野の奨学金を授与（2017年は計39名の学生に授与）。 ・企業向けの淡水化の実務者に対する研修（GPET）や、淡水化の技術者を志すオマーンの若者に対する研修（TAHLYA）を実施しており、これらの研修は独自財源の確保に貢献している。 ・各事業の活動状況については、定期的にホームページやフェイスブック等のSNSで写真付きで公表しており、対外的なビジビリティの強化に努めている。 ・各国の援助機関等と積極的に覚書（MOU）を締結、パートナーシップを組み、連携を強化している。 						
2 組織・財 政マネジメ ント	<ul style="list-style-type: none"> ・外部監査 対象年度：2015年、実施主体：グラントソントン、報告・提出月：2016年12月、結果及び対応：特段の指摘事項なし ・財政状況の報告 報告・提出月：2018年3月（2017年） （2016年、2017年の監査報告は現在作業中であり、近く報告がなされる予定。） ・2013年に就任したオクイン事務局長の下、2014年に、財政維持のための運営方針に関する新戦略が策定され、人件費削減や事業の効率化等、財政改革に取り組んでいる。持続可能な国際機関モデルの構築のため、ドナーからの支援に加えて、企業の研修の受注等を通じた独自財源の確保にも力を入れている。 						
3 日本の外 交課題遂行 における有 用性・重要性	<ul style="list-style-type: none"> ・MEDRCへの拠出は、日本による中東和平・パレスチナ支援の一環であり、中東地域の平和と安定は、日本の平和と繁栄、同地域にエネルギーの安定供給を依存する経済の安定的成長の確保の観点から極めて重要である。また、MEDRCは、同地域で死活的に重要な淡水の供給技術の発展に主要な役割を果たしており、本件拠出金は人道的観点からも重要。 ・中東和平における日本独自のイニシアチブである「平和と繁栄の回廊」構想は、日本、イスラエル、ヨルダン、パレスチナの四者の地域協力を通じて信頼醸成を推進することを目的としている。その観点から、MEDRCが推進する淡水化の実務者協力を通じた中東和平当事者間の信頼醸成とも、軌を一にするもの。 ・MEDRCは、ヨルダン・イスラエル間の協力プロジェクトである紅海・死海プロジェクトや、パレスチナのガザ地区におけるガザ淡水化プロジェクトにおいても、技術者に研 						

